

[参考資料]

1. 原料費調整制度の概要

- ・原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、毎月、従量料金単価（1㎡あたりの単価）を調整する制度です。
- ・基準平均原料価格（83,350円／トン）と平均原料価格（3～5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格）の差額100円につき、1㎡あたり 0.081円（税抜）調整します。
- ・ガス料金（一般ガス供給約款）の計算に適用する平均原料価格については、133,360円／トンを上限とします。

2. 平均的なガス使用量（29㎡/月）のご家庭のガス料金（2026年10月検針分）

（1）平均原料価格の算定

<LNG平均輸入価格>  
100,400（円／トン）

×

0.9576

+

<LPG平均輸入価格>  
124,870（円／トン）

×

0.0466

=

101,961.982（円／トン）

⇒ 101,960（円／トン） ※10円未満を四捨五入

（2）平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

<平均原料価格>  
101,960（円／トン）

－

<基準平均原料価格>  
83,350（円／トン）

=

18,610（円／トン）

⇒ 18,600（円／トン） ※100円未満を切捨て

（3）従量料金単価調整額の算定

<原料価格変動額>  
18,600（円／トン）

×

0.081（円／㎡）

÷

100（円／トン）

×

<消費税率>  
( 1 + 0.10 )

=

16.5726（円／㎡）

⇒ 16.57（円／㎡） ※小数点第3位以下を切捨て

（4）従量料金単価（税込）の算定（一般ガス供給約款 料金表Bの場合）

<基準単位料金>  
169.03（円／㎡）

+

<従量料金単価調整額>  
16.57（円／㎡）

－

<政府支援分>※  
14.00（円／㎡）

=

171.60（円／㎡）

（参 考）2026年9月検針分の従量料金単価との比較

<2026年10月の従量料金単価>  
171.60（円／㎡）

－

<2026年9月の従量料金単価>  
161.27（円／㎡）

=

+10.33（円／㎡）

※電気・ガス料金負担軽減支援事業の政府支援に基づく値引き。

（5）ガス料金（2026年10月検針分、税込）

<基本料金>  
1,588.88（円／月）

+

<従量料金単価>  
171.60（円／㎡）

×

<ガス使用量>  
29（㎡／月）

=

6,565.28（円／月）

⇒ 6,565（円／月） ※1円未満を切捨て

以 上